

2023年5月19日
日本生命保険相互会社

サステナビリティ課題解決1号ファンドへの投資について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、今般、ニッセイ・キャピタル株式会社（社長：上田宏介、以下「ニッセイ・キャピタル」）が設立したサステナビリティ課題解決1号ファンド（以下「当ファンド」）に約30億円投資することを決定しました。ニッセイ・キャピタルがサステナビリティの観点で社会貢献が期待されるスタートアップ等を主な投資対象とするファンドを設立するのは、今回が初めてとなります。

ニッセイ・キャピタルは、1991年に設立された日本生命グループのベンチャーキャピタルです。設立以来、主に国内の1,000社超のベンチャー企業へ投資を実施し、うち250社超のIPOを輩出するなど国内トップクラスの運用実績を誇っています。

気候変動問題などの社会課題を解決するには、「イノベーション」の促進を通じて個々の技術を社会実装させるなど、中長期の視点で企業のESG取り組みを後押しすることが重要となります。こうしたイノベーション関連の技術は、研究開発から社会実装まで多額の資金が必要となることや、将来的には大きな事業へと成長が期待されることから、今般、ニッセイ・キャピタルは当該領域に特化したファンドを設立することを決定しました。

国内の多くのベンチャーキャピタルファンドは、ファンド期間を10年間程度とすることが一般的です。しかし、当ファンドは、当ファンドのリミテッド・パートナーである当社が長期の視点で資産運用を行う機関投資家であるという特性も活かし、SDGs面での社会貢献が期待される研究開発型のスタートアップを長期間にわたって支援するために、ファンド期間を18年に設定しました。

当社は、生命保険会社としての使命や公共性を踏まえ、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点からESG投融資を強化しており、当案件は、先般新たに目標設定したESGテーマ投融資および脱炭素ファイナンス枠に該当するものです。当ファンドへの投資を通じて、持続可能な社会の実現に資する「イノベーション」を促進し、社会課題の解決にも貢献してまいります。

今後も、持続可能な社会の実現への貢献と契約者利益の一層の拡大を目指し、ESG投融資に取り組んでまいります。

(ご参考)

<ESG テーマ投融資および脱炭素ファイナンス枠における 2030 年目標の設定について>

<https://www.nissay.co.jp/news/2022/pdf/20230306b.pdf>

<当ファンドの概要>

| | |
|---------|--|
| 1. 名称 | ニッセイ・キャピタル サステナビリティ課題解決1号ファンド |
| 2. 運用者 | ニッセイ・キャピタル株式会社 |
| 3. 投資対象 | 脱炭素・環境負荷軽減・新エネルギー・健康長寿・持続可能性に関する技術・サービスなど、SDGs 面での社会貢献が期待されるスタートアップ（およびそれらを主たる投資対象としたベンチャーキャピタルファンド） |
| 4. 特徴 | 長期間でのファンド期間設定（18年間） 長期間にわたる研究開発を必要とするスタートアップのニーズにも応えられるよう長期のファンド期間を設定 |

<ニッセイ・キャピタルの概要>

| | |
|----------|----------------|
| 1. 名称 | ニッセイ・キャピタル株式会社 |
| 2. 設立 | 1991年 |
| 3. 本社所在地 | 東京都千代田区丸の内 |
| 4. 代表者 | 代表取締役社長：上田 宏介 |
| 5. 資本金 | 30億円 |
| 6. 従業員 | 24名 |

以上

2023-455G, 広報部